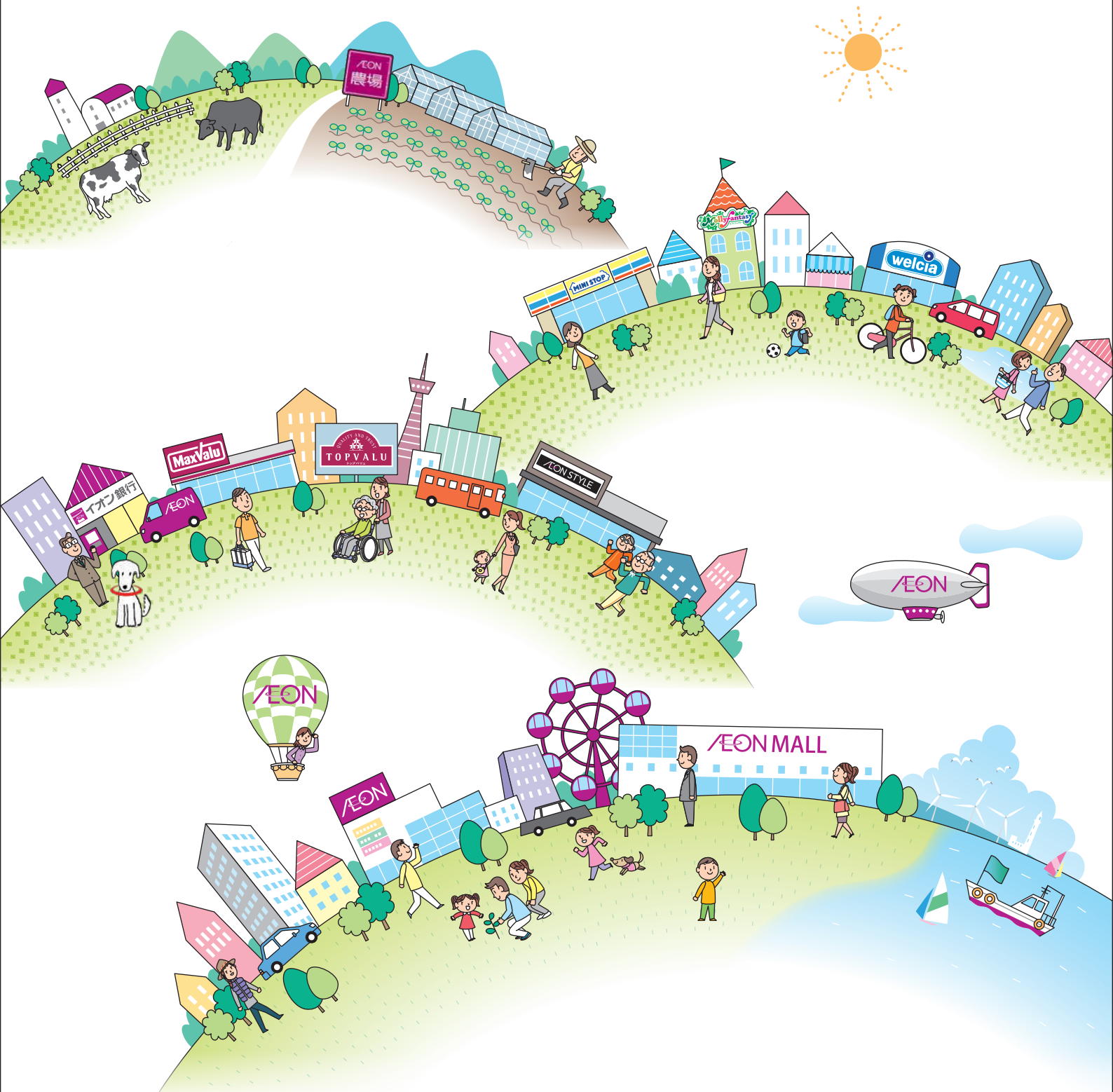


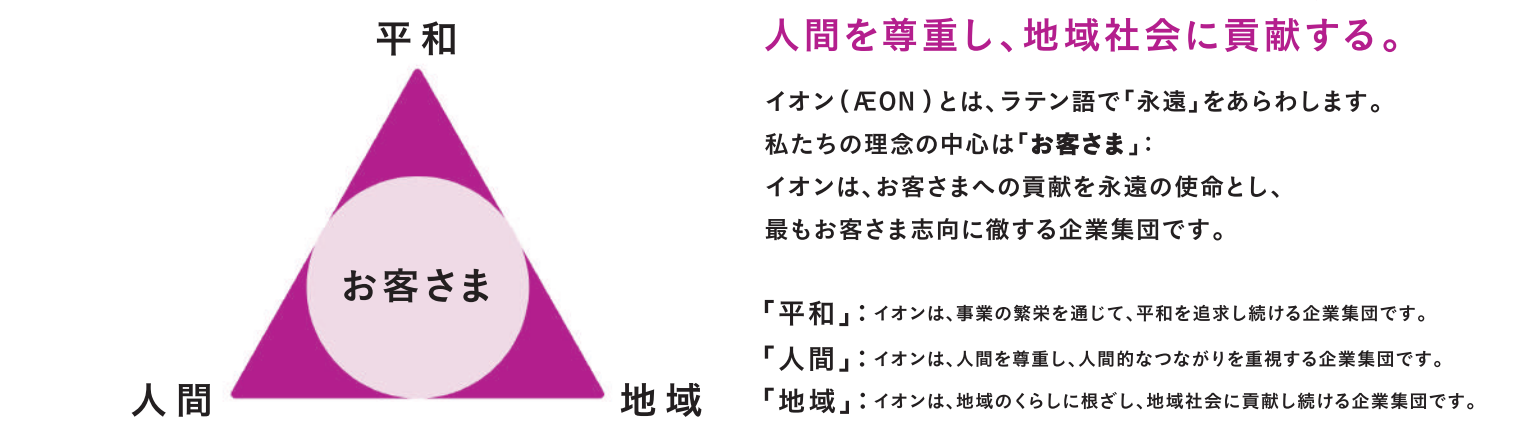
夢のある未来へ

AEON 2020



AEON Basic Principles

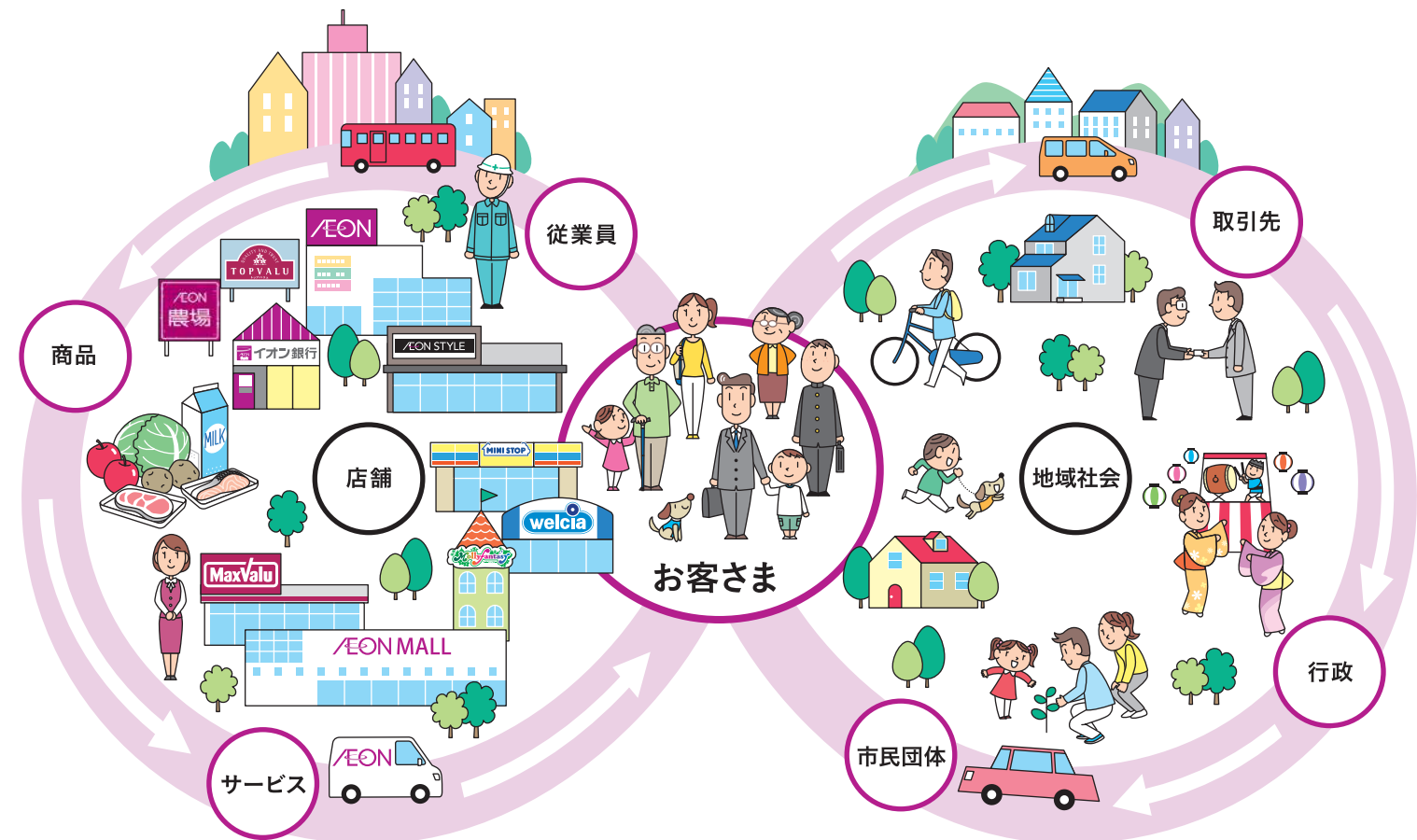
イオンの基本理念



イオンは基本理念のもと、絶えず革新し続ける企業集団として、「お客さま第一」を実践してまいります。

人と地域を豊かにする生活産業として

イオンは、お客さまの暮らしを豊かにする価値（バリュー）を
店舗と地域社会で循環させ、お客さまに提供する生活産業です。
多くのステークホルダーと連携し、地域社会の持続的な発展と、
豊かな未来の創造に貢献していきます。



HISTORY

沿革

1758～ 創 始 期	
 1890～1900年頃の岡田屋 「大黒柱に車をつけよ」の家訓が生まれる	1758 岡田惣左衛門が三重県四日市でジャスコの前身「岡田屋」を創業（屋号は「篠原屋」、1887年「岡田屋」に改称） 1926 六世惣右衛門が株式会社に改組し、「岡田屋呉服店」を設立（1954年「岡田屋」に商号変更） 1937 二木一が兵庫県姫路市で「フタギ」を創業 1955 井上次郎が大阪府豊中市で「飯田」を設立（1963年「シロ」に商号変更） 1965 1,000本の桜を愛知県岡崎市に寄贈
1969～ 連邦制経営と多角化の推進	
 「心と心の合併」でジャスコ誕生	1969 「岡田屋」「フタギ」「シロ」の3社共同出資でジャスコ（株）を設立（株）ダイヤモンドシティを設立、商業ディベロッパー事業開始 1974 プライベートブランドのさきがけとなる「ジェーカップ」を開発・発売 1976 東証・大証・名証各市場第1部に指定 1977 「ジャスコ社会福祉基金」を設立（現イオン社会福祉基金） 1981 日本クレジットサービス（株）を設立（現イオンクレジットサービス（株））、金融事業開始 1984 （株）ブルーグラス（現（株）コックス）を設立、サービス・専門店事業展開
1985～ 国際的企業グループへの飛躍	
 海外1号店のジャヤ・ジャスコストアーズ ダヤブミ店	1985 マレーシアに海外1号店を開業 1989 グループ名称を「ジャスコグループ」から「イオングループ」へ「イオングループ1%クラブ」を創設（現公益財団法人イオンワンパーセントクラブ） 1990 「地球にやさしいジャスコ委員会」が発足「財団法人イオングループ環境財団」を設立（現公益財団法人イオン環境財団） 1991 「イオン ふるさと森づくり」を開始 1994 ジャスコストアーズ（香港）（現：イオンストアーズ香港）が香港証券取引所に上場 1996 ジャヤ・ジャスコストアーズ（現：イオンマレーシア）がクアラルンプール証券取引所メインボードに上場
2001～ ジャスコからイオンへ	
 イオン（株）への社名変更に伴い実施された、新生「イオン」への入社式	2001 ジャスコ（株）からイオン（株）に社名変更し、グループ名称を「イオン」に改称「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」を開始 2003 イオン（株）が委員会等設置会社（現：指名委員会等設置会社）へ移行 2007 電子マネー「WAON（ワオン）」が誕生イオントップバリュ（株）をはじめ、グループ共通の3機能を分社化 2008 イオン（株）が純粋持株会社へ移行「イオン温暖化防止宣言」を策定 2010 「イオン生物多様性方針」を策定
2011～ 「グローバルトップ10」を目指して	
 ベトナム1号店のイオンモールタンフーセラドン	2011 中国本社・アセアン本社を設立総合スーパーの屋号を「イオン」に統一「イオン サステナビリティ基本方針」を策定 2012 「イオンのecoプロジェクト」を開始 2014 ベトナム、カンボジアでの開業を皮切りに「アジアシフト」を加速 2017 「イオン持続可能な調達方針」及び「持続可能な調達2020年目標」を策定「イオングループ食品廃棄物削減目標」を策定 2018 「イオン 脱炭素ビジョン2050」を策定 2019 英国オカド社との戦略的パートナーシップ契約を締結

アジアへ、世界へ、
広がるイオングループ



約8兆6,042億円

約**58**万人

約 **4,527** 万人
(うち海外会員数1,638万人)

- | | |
|-----------|---------|
| ● GMS | 511店舗 |
| ● SM | 2,103店舗 |
| ● DS | 570店舗 |
| ● HC | 120店舗 |
| ● CVS | 1,997店舗 |
| ● サービス | 1,621カ所 |
| ● 専門店 | 3,895店舗 |
| ● ドラッグストア | 2,385店舗 |
| ● 金融 | 363カ所 |
| ● モール型SC | 184カ所 |
| ● NSC | 145カ所 |
| ● その他(小売) | 1,026店舗 |

- SM 50店舗
- サービス 28カ所
- 金融 153カ所
- その他(小売) 1店舗

- CVS 506店舗
- サービス 57カ所
- 金融 4カ所

- GMS 2店舗
- サービス 30カ所
- 金融 8カ所
- モール型SC 2カ所

- | | |
|-----------|-------|
| ● GMS | 56店舗 |
| ● SM | 24店舗 |
| ● CVS | 104店舗 |
| ● サービス | 220カ所 |
| ● 専門店 | 5店舗 |
| ● 金融 | 27カ所 |
| ● モーリス型SC | 26カ所 |
| ● その他(小売) | 55店舗 |

- CVS 2,603店舖

- | | |
|-----------|------|
| ● GMS | 35店舗 |
| ● SM | 8店舗 |
| ● DS | 22店舗 |
| ● サービス | 97カ所 |
| ● 金融 | 71カ所 |
| ● モール型SC | 28カ所 |
| ● その他(小売) | 76店舗 |

- | | |
|-----------|-------|
| ● GMS | 5店舗 |
| ● SM | 23店舗 |
| ● CVS | 140店舗 |
| ● サービス | 11カ所 |
| ● 金融 | 4カ所 |
| ● モール型SC | 5カ所 |
| ● その他(小売) | 15店舗 |

- GMS 2店舗
- SM 9店舗
- サービス 3カ所
- 金融 12カ所
- モール型SC 2カ所

- 金融 9力所

- GMS 2店舖
- SM 12店舖
- 金融 6力所

- ドラッグストア …………… 7店舗

- 金融 1 力所

- タスマニア直営牧場…………… 1カ所

連結子会社、持分法適用関連会社の店舗数

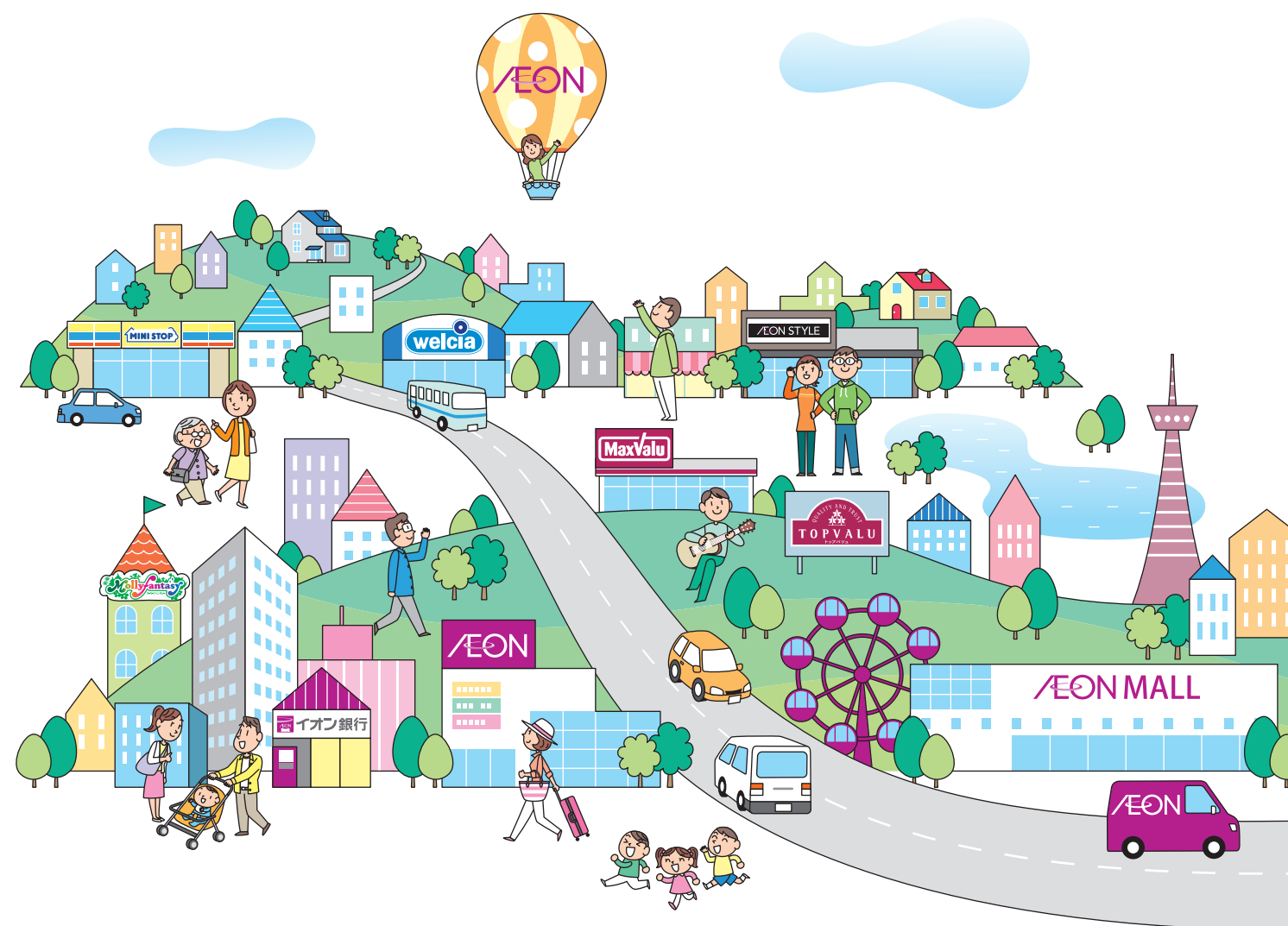
● モール型SC(ショッピングセンター)	247カ所※
● NSC(近隣型ショッピングセンター)	145カ所※
● タスマニア直営牧場	1カ所

※1 名称が「イオンモール」のSCに加え、総賃貸面積20,000m²以上のものを含む
※2 名称が「イオンタウン」のNSC

※2 名称が「イオンタウン」のNSC

(2020年2月末時点)

小売を中心に多様な事業が有機的に結びつき、
高い相乗効果を創出しています



専門性の高い品揃えとサービスで、お客さまの衣食住をサポートする総合スーパーを展開しています。

地域に密着したスーパーマーケット、ディスカウントストア、小型店、コンビニエンスストアを展開。食品を中心に、毎日の暮らしに欠かせない商品とサービスの充実を図っています。

地域の皆さまの健康をサポートするドラッグストア、調剤薬局を展開。医薬品をはじめ、健康食品や日用品など、品揃えの充実に加え、在宅調剤などのサービス拡充に取り組んでいます。

クレジットカード、銀行、保険、電子マネー「WAON」を連携させた小売業発の総合金融サービスを提供。アジア各国においても、クレジット事業などを展開しています。

日本及びアジア各国で地域と共生するショッピングモールを開発、運営。グループ各事業と連携しながら、時代や社会のニーズに合わせたサービスの提供や施設の充実を図っています。

毎日の生活を一層便利で快適にするサービスの提供と、お客さまの幅広いニーズに応える多彩なジャンルの専門店を展開しています。

中国、アセアン各国において、総合スーパー、スーパーマーケット、ディスカウントストアなどを展開。国や地域ごとに異なるニーズやライフスタイルに合わせた商品やサービスを提供しています。

イオンのブランド「トップバリュ」での商品
開発や品質管理、物流、システム、ITといった
インフラ構築を担っています。

(2020年2月末時点)



「よりよい未来のために、いまできること」

イオンは、お客さまやステークホルダーの皆さまとともに、

～お客さまやステークホルダーの皆さまとともに～

環境・社会の課題を解決し、持続可能な社会の実現を目指します。



脱炭素社会を目指して

イオン 脱炭素ビジョン2050

店舗で排出するCO₂などを2050年までに総量でゼロにすることを指す「イオン 脱炭素ビジョン2050」を策定。中間目標として、2030年までにCO₂排出量を35%削減することを目指します。(2010年比)



再エネ×省エネによる環境配慮型店舗「次世代スマートイオン」

■再生可能エネルギー100%使用店舗の誕生

イオン藤井寺SCでは、PPAモデル※として設置された太陽光発電設備による電力を、店舗内で自家消費することに加え、電力会社が提供する再生可能エネルギー由来の電気を使用しています。

※PPA(Power Purchase Agreement)：事業者が電力需要家の敷地に太陽光発電システムを設置し、そこで発電した電力を需要家に販売する事業モデル。



■施設設備の管理を統合する省人化システムを省エネに活用

オープンネットワークシステムにより、空調や照明などの設備管理機能を統合し、施設内外からの遠隔制御を可能にします。省人化に加え、省エネへの活用も進めます。



資源循環の促進

食品廃棄物の削減

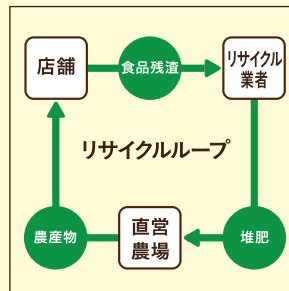
■食品廃棄物を2025年までに半減

食品廃棄物を発生原単位※で2020年までに25%削減、2025年までに50%削減することを目指します。(2015年比)

※売上100万円当たりの発生量

■「食品資源循環モデル」の構築

グループの店舗から排出した食品残渣をリサイクルし、直営農場で堆肥として活用。そこで新たに生産した農産物を再度店舗に供給する「イオン完結型食品リサイクルループ」をはじめ、全国のパートナーと連携し、地域特性に合わせた「食品資源循環モデル」を全国で10カ所以上構築します。



■10X20X30 食品廃棄物削減イニシアティブ

食品廃棄物半減を目指す世界的な取り組みに、イオンはアジア唯一の小売企業として参画。食品メーカーなどと、サプライチェーン全体での食品廃棄物削減に取り組みます。

※世界の小売業など11社が、それぞれ20社程度のサプライヤーとともに、2030年までに食品廃棄物の半減を目指す取り組み。

10X20X30

2020年 レジ袋無料配布の終了

使い捨て資源の削減のため、2020年4月に全国の「イオン」の食品売場に加え、衣料やくらしの品を含む直営全売場、ドラッグストア、コンビニエンスストアの一部でレジ袋の無料配布を終了しました。



■イオンのレジ袋削減への歩み

- 1991年 お客さまにマイバッグをご持参いただく「買物袋持参運動」開始。
- 2007年 「イオン」の食品売場でのレジ袋無料配布中止を開始。
- 2008年 環境保全活動に役立てていただくために、有料レジ袋の収益金の寄付を開始。
- 2019年 リサイクル原料を使ったマイバッグと買物袋の販売開始。

レジ袋無料配布終了
2,256店舗

レジ袋辞退率
74.6% (無料配布実店舗含む)

レジ袋削減枚数
約28億6,996万枚

累計寄付金額
約8億4,161万円

持続可能な商品調達の推進

豊かな自然の恵みを次世代へつなぐ

「イオン持続可能な調達方針」のもと、グローバル基準に基づいて生産された認証商品の調達を推進しています。

■大切な水産資源を守る MSC認証商品・ASC認証商品

海の環境や資源、地域社会や人権に配慮して漁獲・養殖された認証商品の調達を強化し、限りある水産資源を守ります。店舗では、認証商品のみを集めた常設コーナー「フィッシュバトン」を展開しています。



■持続可能な農業を広げる グローバルGAP認証商品



安全・安心かつ持続可能な生産方法に加え、労働環境などにも配慮して生産された農作物である証「GGN」ラベル付きの商品を、アジアで初めて展開しています。

■森林資源を適切に管理する FSC®認証商品

適切に管理された持続可能な森林で生産された林産物であることへの認証です。(FSC®C005942)

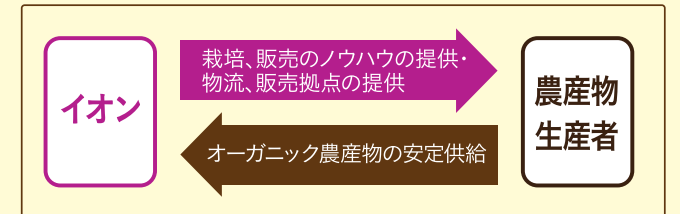


オーガニックの輪を広げる

イオンは、オーガニック農産物の取り扱いの拡大を目指します。

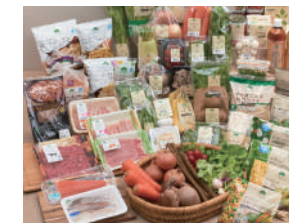
■オーガニック農産物のプラットフォームの構築

イオンと農産物生産者が協働で生産、調達、加工、物流、販売に取り組み、オーガニックを広げていくための戦略的プラットフォーム「イオンオーガニックアライアンス」を構築。オーガニック農産物の安定供給を実現させ、食の安全・安心に対するお客さまのニーズに応えていきます。



人や環境に配慮した商品の広がり

イオンは、お客さまの健康や自然環境への関心の高まりに応えるため、人や環境へのやさしさに配慮した商品を幅広く提供しています。



人の健康と自然環境へのやさしさに配慮した「トップバリュ グリーンアイ」を、イオン独自の安全・安心ブランドとして展開しています。



日本初のオーガニック特化型のスーパーマーケット「バイオセボン」を展開し、国内のオーガニック市場の拡大を目指します。

天然由来の原料にこだわった高品質な仏国コスメ・ブランド「イヴ・ロシェ」を日本に初導入しました。

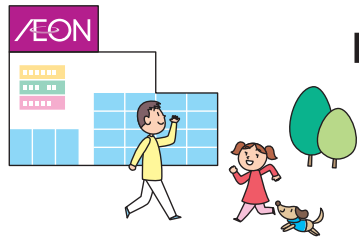
お客さまの声が原点のブランド「トップバリュ」

トップバリュは、「お客さまの毎日の暮らしをもっと楽しく」との想いから生まれたイオンのブランド。品質、価格、安全・安心、健康志向・ナチュラル志向の高まりや高齢化社会を背景とした「ヘルス&ウェルネス」に対するニーズなど、常にお客さまの声を原点に各種ブランドを展開しています。



トップバリュから環境配慮型商品のラインアップを拡充
地球環境を守るため、使い捨てプラスチックの削減や森林資源の保全を具現化した環境配慮型の商品の企画・開発にも取り組んでいます。





「よりよい未来のために、いまできること」 ～イオンのあるくらしとともに～



イオンは、地域社会の一員として、地域のお客さまとともに安全・安心で豊かなくらしの実現を目指します。

店舗

イオンは、店舗における商品・サービスの提供や防災活動などを通じて豊かなくらしの実現に取り組んでいます。

安心してお買物を サービス介助士・認知症サポーターの養成

介助が必要なお客さまや認知症のお客さまへ適切なサポートが行えるよう、「サービス介助士」の取得の推奨や、「認知症サポーター」の養成を行っています。



「認知症サポーター」養成人数
累計 約**7.9万人**

「認知症サポーター」のマーク

地域社会

イオンは、地域に密着した活動を通し、豊かな地域社会の実現に貢献しています。

東北創生の輪を広げる活動 にぎわい東北一つなげよう、ふるさとのチカラ

東日本大震災直後から、被災地の復興・創生を支援する様々な活動を継続しています。地域の一員として、笑顔と活気にあふれる街づくりを目指します。



循環型社会を目指して 店頭での資源回収

貴重な資源を捨てずに再資源化するために、イオンは店頭で紙バック、食品トレイ、アルミ缶、ペットボトルの回収ボックスを設置しています。回収したアルミ缶や紙バックは「トップバリュ」の原料の一部としてリサイクル活用するなど、循環型社会の構築に向けた取り組みを続けています。

お買物を通じて地域を応援！

お住まいの地域を応援

イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン

毎月11日に発行する黄色いレシートを、お客さまが応援したい団体のボックスに投函いただくと、集まったレシート合計額の1%相当の品物を地域のボランティア団体などに寄贈する取り組みです。

累計寄付 のべ約34万6,200団体

総額 約**40億5,914万円**



ふるさとを応援 ご当地WAON

地域や自治体との連携のもと、地域貢献につながる電子マネー「ご当地WAON」を発行。全国約67万6,000カ所のWAON加盟店でご利用いただいた金額の一部を地域に寄付し、環境保全、観光やスポーツの振興などにお役立ていただいています。

151券種
累計寄付金額
約**17億5,858万円**



次代を担う人材育成を目指して イオン チアーズクラブ

全国の店舗を拠点に、小中学生の子どもたちが「環境・社会」に関する様々な活動に取り組んでいます。

有事の際にイオンが果たす役割

有事の際には、被災地の早期の復旧、復興に取り組み、社会インフラの役割を果たすことで、地域のお客さまのくらしを守ります。

■ 防災拠点としてのイオン

イオンは全国10の電力会社と協定を結び、災害時には電力復旧拠点設営用のスペースとして、敷地内駐車場スペースを貸与します。また、災害時に備え、店舗での総合防災訓練やバールンシェルターの導入を行っています。

令和元年台風15号 イオンモール本更津



■ くらしを守る移動販売

店頭でのお買物が困難な地域で、お客さまのくらしをサポートする移動販売車。また、有事の際も、行政と連携を取りながら生活必需品をいち早く被災地へお届けすることで、地域のお客さまのライフラインを守ります。



■ 従業員による被災地支援ボランティア活動

グループ各社の従業員が被災地に赴き、早期の復旧に向けたボランティア活動を実施しています。



基本理念を具現化したイオンの植樹活動

イオンでは、次の3つの柱で植樹活動を実施しています。

【イオン ふるさとの森づくり】

新店舗のオープンの際に地域のお客さまとともに店舗敷地内に植樹を実施します。

【公益財団法人
イオン環境財団による植樹】
荒廃した世界各地の森の再生を目指します。

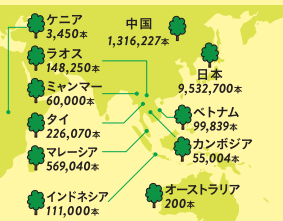
【イオン 東北復興ふるさとの森づくり】

東日本大震災の被災地で、主に海岸林再生のため、植樹活動を続けています。



イオン ふるさとの森づくり (イオンタウン四日市店)

植樹活動の広がり



＼ 木を植えた本数 /
12,121,780本

(2020年2月末時点)
※「イオン ふるさとの森づくり」、
「(公財)イオン環境財団による植樹」、
「イオン 東北復興ふるさとの森づくり」の合算

人材を最も大切にする企業として

人材こそが最大の経営資源であるとの信念に基づき、イオンは多様な従業員が長く能力を発揮し続けられる企業を目指します。

■ 多様な学びの機会の提供

イオンでは、社内外の教育機関での学びの機会創出、新規事業等に挑戦できる公募制度の設置など、従業員の成長を後押しし、一人ひとりがやりがいを持って働ける企業を目指します。



■ 「ウェルネス&ダイバーシティ経営」の推進



イオンゆめみらい保育園

女性管理職登用や障がい者雇用の拡大、子育て中の従業員を支援する事業所内保育園の設置数拡大など、働きやすい職場環境づくりを進めています。

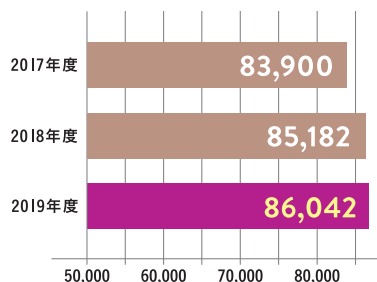
イオン サステナビリティデータブック はこちら

さらに詳しいイオンの環境保全活動、社会貢献活動については、こちらのQRコードよりご覧いただけます。GMS事業、SM事業を中心に、「環境」「社会」の両面からサステナビリティの取り組みを紹介しています。

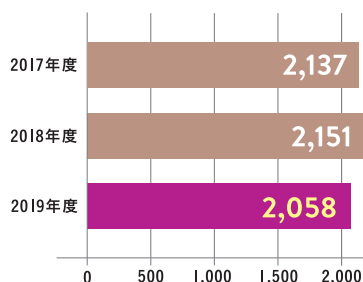


連結業績

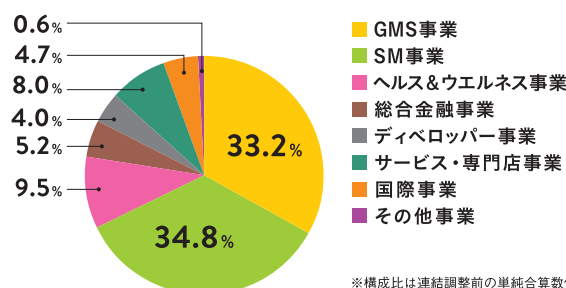
▼ 営業収益 (単位: 億円)



▼ 経常利益 (単位: 億円)



▼ 2019年度 事業別 営業収益構成比※



グループ主要企業一覧

純粋持株会社

イオン(株)

GMS(総合スーパー)事業

イオンリテール(株)	イオンリカー(株)
イオン北海道(株)	イオン琉球(株)
(株)サンデー	オリジン東秀(株)
イオン九州(株)	清水商事(株)
イオンスーパーセンター(株)	トップバリュコレクション(株)
イオンバイク(株)	(株)ボンベルタ
イオンベカリー(株)	

SM(スーパーマーケット)事業

ミニストップ(株)	イオンマーケット(株)
ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス(株)	(株)光洋
(株)カスミ	(株)山陽マルナカ
マックスバリュ関東(株)	(株)ダイエー
(株)マルエツ	ビオセボン・ジャポン(株)
マックスバリュ西日本(株)	(株)ビッグ・エー
マックスバリュ東海(株)	まいばすけっと(株)
マックスバリュ九州(株)	マックスバリュ長野(株)
アコレ(株)	マックスバリュ北陸(株)
イオンサヴール(株)	マックスバリュ南東北(株)
イオン東北(株) ※2020年3月1日設立	(株)マルナカ
イオンビッグ(株)	

ヘルス&ウェルネス事業

ウエルシアホールディングス(株)	(株)イオンフォレスト
ウエルシア薬局(株)	(株)イオンボディ
金光薬品(株)	イオンレーヴコスメ(株)
シミズ薬品(株)	コスメム(株)
(株)丸大サクラサ薬局	
(株)MASAYA	

総合金融事業

イオンフィナンシャルサービス(株)	AEON CREDIT SERVICE(ASIA)CO., LTD.
(株)イオン銀行	AEON THANA SINSAP (THAILAND) PLC.
イオンクレジットサービス(株)	AEON CREDIT SERVICE(M)BERHAD
イオン住宅ローンサービス(株)	AEON Financial Service (Hong Kong) Co., Ltd.
イオンプロダクトファイナンス(株)	イオン・リートマネジメント(株)
イオン保険サービス(株)	フェリカポケットマーケティング(株)
AFSコーポレーション(株)	

ディベロッパー事業

イオンモール(株)	(株)OPA
イオンタウン(株)	

サービス・専門店事業

【サービス事業】	【専門店事業】
イオンディライト(株)	(株)ジーフット
(株)イオンファンタジー	(株)コックス
アクティア(株)	アビリティーズジャスコ(株)
(株)イオンイーハート	イオンベット(株)
イオンエンターテイメント(株)	クレアーズ日本(株)
イオンカルチャー(株)	ブランシェス(株)
イオンコンパス(株)	(株)プレステージシューズ
イオンライフ(株)	(株)未来屋書店
リフォームスタジオ(株)	(株)メガスポーツ
	メガベトロ(株)
	R.O.U(株)

国際事業

【中国】	【ASEAN】
AEON (CHINA) CO., LTD.	AEON CO. (M) BHD.
AEON Stores (Hong Kong) Co., Limited	AEON BIG (M) SDN. BHD.
AEON EAST CHINA (SUZHOU) CO., LTD.	AEON (CAMBODIA) Co., Ltd.
AEON (HUBEI) CO., LTD.	AEON ORANGE COMPANY LIMITED
AEON South China Co., Limited	AEON(Thailand) CO., LTD.
BEIJING AEON CO., LTD.	AEON VIETNAM CO., LTD
GUANGDONG AEON TEEM CO., LTD.	DONG HUNG INVESTMENT DEVELOPMENT
QINGDAO AEON DONGTAI CO., LTD.	CONSULTANCY JOINT STOCK COMPANY LIMITED
	PT.AEON INDONESIA

機能会社・その他

イオンアイビス(株)	AEON TOPVALU (CHINA) CO., LTD.
イオンアグリ創造(株)	AEON TOPVALU (HONG KONG) CO., LIMITED
イオングローバルSCM(株)	AEON TOPVALU MALAYSIA SDN.BHD.
イオン・シグナ・スポーツ・ユナイテッド(株)	AEON TOPVALU (THAILAND) CO., LTD.
イオントップバリュ(株)	AEON TOPVALU VIETNAM COMPANY LIMITED
イオンドットコム(株)	Tasmania Feedlot Pty. Ltd.
イオンネクスト準備(株)	
イオンフードサプライ(株)	
イオンマーケティング(株)	
コルドンヴェール(株)	
(株)生活品質科学研究所	

■ (公財)イオンワンパーセントクラブ ■ (公財)岡田文化財団
■ (公財)イオン環境財団

太字は株式公開会社(2020年2月末時点)

イオン株式会社

本社 〒261-8515 千葉県千葉市美浜区中瀬1-5-1
Webサイト <https://www.aeon.info/>

